

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会
2019年度 手話通訳指導者育成事業
(日本財団助成事業)

報告書

2019年度手話通訳指導者育成講座報告書

目次

1. 2019年度手話通訳指導者育成講座募集案内	3
2. 対面学習会	4
対面学習会カリキュラム	5
対面学習会資料	6
3. OJT：手話通訳者現任研修会	15
模擬通訳シナリオ	16
模擬通訳小道具	27
4. 手話通訳Ⅰ養成担当講師連続講座	28
手話通訳Ⅰ養成担当講師連続講座カリキュラム	29
手話通訳Ⅰ養成担当講師連続講座資料	30
5. まとめ	53

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会
2019年度 手話通訳指導者育成講座
 (日本財団助成事業)

「手話通訳指導者育成講座」フェーズⅡ-2

■ 講座内容

(1) 対面学習会 (手話翻訳・通訳の理論と実践、手話通訳指導トレーニング)

手話翻訳・通訳の指導トレーニングを行う。
 指導実習のスーパービジョンを行う。

(2) 指導実習 (OJT : プレ通訳講座)

これまで指導実習として開催してきた「はじめての手話入門教室」の受講者を対象に、手話翻訳・通訳の基礎を指導する。
 指導については対面学習会でスーパービジョンを行う。指導実習の様子をビデオに録画し、指導してもらいたい箇所を選択する。対面学習会において、選択した箇所について指導を受ける。

(3) 全国手話研修センター手話通訳者Ⅰ養成担当講師連続講座

全8回2日間の連続講座を受講し、修了証をゲットする。
 1日目12:15-17:50 (5時間) 2日目9:30-15:10 (4時間30分)

	(1) 対面学習会	(2) OJT 指導実習	(3) 連続講座
6月	第1回対面学習会 (6/29土)		
7月			第1回連続講座 (7/13-14) (7/20-21)
8月		第1回プレ通訳講座	第2回連続講座 (8/10-11)
9月	第2回対面学習会 (9/21土)	第2回プレ通訳講座 (指導観察)	第3回連続講座 (9/14-15)
10月			第4回連続講座 (10/12-13) (10/19-20)
11月		第2回プレ通訳講座	第5回連続講座 (11/9-10) (11/23-24)
12月	第3回対面学習会 (12/14土)	第4回プレ通訳講座 (指導観察)	第6回連続講座 (12/21-22)
1月			第7回連続講座 (1/18-19) (1/25-26)
2月		第5回プレ通訳講座	第8回連続講座 (2/15-16)
3月	第4回対面学習会 (3/20金祝) 3/21・22	第6回プレ通訳講座 (指導観察)	連続講座予備 (3/7-8)

※詳しい日程は今後調整。開催月など変更することもあります。

<連絡・問い合わせ>

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会
 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3丁目1-6 宮城県本町第3分庁舎1F
 宮城県聴覚障害者情報センター内
 FAX : 022-393-5502 E-mail : secretariat@miyacho-fukushi.jp



一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会

2019年度 手話通訳指導者育成事業

(日本財団助成事業)

対面学習会

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

2019年度手話通訳指導者育成講座 対面学習会カリキュラム

回	日程	曜日	時間	内容
第1回	6月29日	土	13:00-17:00	<ol style="list-style-type: none"> 1.手話通訳指導者に必要な言語学知識 2.「手話通訳 I」教材DVDを用いた文法解説
第2回	9月21日	土	13:00-17:00	<ol style="list-style-type: none"> 1.「手話通訳 I」連続講座のフィードバックとフォロー 2.通訳養成の目的と役割（ろう・聴講師）について
第3回	12月14日	土	13:00-17:00	<ol style="list-style-type: none"> 1.「手話通訳 I」連続講座のフィードバックとフォロー 2.翻訳指導ワークショップ（AI vs 教科書が読めない子どもたち） 3.模擬通訳指導の準備：医療場面の模擬通訳進め方
第4回	3月20日	金祝	13:00-17:00	<ol style="list-style-type: none"> 1.「手話通訳 I」連続講座のフィードバックとフォロー 2.手話通訳指導者に必要な言語学知識（対照言語学） 3.通訳指導ワークショップ（エラー分析・コメント出し） 4.今年度のまとめ

教師として 必要な手話言語学知識

2019.06.29（土） 13:00-17:00

令和元年度手話通訳指導者講座

対面学習会（1）

運動家

『手話奉仕員養成カリキュラム』

『手話通訳者養成カリキュラム』

基礎課程

第4 手話の基本文法

専門家

第二言語教育
手話言語学

(1) 具体的表現技術

① 形・動作・状況にあわせた具体的表現技術を習得する。

② 音声言語にとらわれず、意味、内容にあった具体的表現ができる表現を習得する。

- CL (分類辞)
- CL構文
- 非手指副詞 (様態副詞、程度副詞)

(2) 置き換え表現技術

音声言語の意味・内容にあった手話表現ができる技術を習得する。

- 翻訳技術？

(3)手や顔・身体の表情

手、顔、体の表情及び手話の強弱、速度の変化により、状況や感情表現ができる技術を習得する。

- NM（非手指動作）
- 非手指副詞（様態副詞、程度副詞）
- 敬意表現も含む？

(4)格*の決定① 2人での位置関係

位置・方向の表現技術により、2人の関係（誰が誰に）が明確に表現できることを習得する。

*「格」とは、例えば「誰が」「誰に」「誰は」というように、ある場面における行為や状態の主体者をさしている。

- 主語と目的語の区別
- 語順の入れ替え
- 一致動詞
- NM（視線等）
- RS（ロールシフト）

(5)格の決定② 3人での位置関係

位置・方向の表現技術により、3人の関係が明確に表現できることを習得する。

- 主語と目的語の区別
- 語順の入れ替え
- 一致動詞
- NM（視線等）
- RS（ロールシフト）
- 文法空間

(6)格の決定③ 指差し

指差しの表現技術により、2人の関係が明確に表現できることを習得する。

- 指差し（代名詞、文末代名詞）

PT1

PT2

PT3

-pt1

-pt2

-pt3

(7)格の決定④ 上体移動

体の向きを左右に変化させる上体移動を行うことにより、話し手が誰かを明確にできることを習得する。

- RS (ロールシフト)
役割交代

(8)格の決定⑤ まとめ

上記(4), (5), (6), (7)の表現技術を駆使し、格を明確に表現できる技術を習得する。

(9)空間活用① 前後・左右・上下

左右・前後・上下の空間活用を行うことにより、時の経過や人間関係を明確に表現する技術を習得する。

- タイムライン
- 時間軸

(10)空間活用② 組み合わせ活用

左右・前後・上下の空間活用の組み合わせ活用を行うことにより、時の経過や人間関係を明確に表現する技術を習得する。

(11) 空間活用③ 代理的活用*

指差しや視線を活用することにより、空間が話の事柄や人間関係を明確に表現できる技術を習得する。

*「代理的活用」とは、日本語の文法でいう代名詞の活用をさしている。

- 代名詞（指差し）
- 文末代名詞
- 文法的空間

PT1

PT2

PT3

-pt1

-pt2

-pt3

(12) 同時表現 両手の活用

両手や視線を活用することにより、複数の事例を同時に表現できる技術を習得する。

- RS（ロールシフト）
行動型RS
（引用型RS）
- CL構文

(13)指の代理的活用

指を有効に活用することにより、前に表した話の事柄や人間関係等を明確に表現できる技術を習得する。

• 手のリスト

(NHK「みんなの手話」2019)

(14)繰り返し表現

同じ手話を繰り返し表現することで、複数の意味を表したり、話を強調したり、継続している状況を表現できる技術を習得する。

• 単数形／複数形

• CL構文

• サンドイッチ構文

翻訳指導用例文

【V-させる】

- ・ 犯人は銀行員に現金を用意させた。
- ・ 山田はひどい奴だ。旅行中ずっと僕に運転させて、自分は寝ているんだよ。
- ・ 子どもを買い物に行かせた。
- ・ 社長は、まず山田をソファーにかけさせて、しばらく世間話をしてから退職の話を切り出した。
- ・ 彼は、いつも冗談を言ってみんなを笑わせる。

【V-させられる】 <使役受身>

- ・ きのは、お母さんに3時間も勉強をさせられた。
- ・ 先輩に無理に酒を飲まされた。
- ・ この歳になって、海外に転勤させられるとは思ってもみなかった。
- ・ 山下さんは、毎日遅くまで残業させられているらしい。

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会

2019年度 手話通訳指導者育成事業

(日本財団助成事業)

OJT（手話通訳者現任研修会）

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

1. 消化器内科（肝血管腫再検査）

木村さんは、人間ドックで肝嚢胞と肝血管腫が発見され、再検査にきました。

医師：木村さん、今日は人間ドックで発見された肝臓の嚢胞と血管腫の再検査ということですね。

その後お変わりありませんか？

まず検査をしましょう。採血後、腹部エコー検査に行ってください。

看護師：（採血）

お名前と生年月日をお願いします。

木村さんですね、3本とらせていただきますね。

親指を中にしてぎゅっと握ってください。

アルコールに負けませんか？

ちくっとしますよ。すみません。

しびれませんか？

はい、楽にしてください。

終わりです、抜きますよ。

5分間押さえていてください。血が止まったら、脱脂綿は指定のゴミ箱に捨ててください。

医師：木村さん、腹部エコーの画像がこちらです。【画像あり】

ここに黒い影がありますね。これは肝嚢胞で、中に水が溜まっているものです。

良性の疾患ですから心配ないでしょう。

こことここに白いものが見えますね。こちらは20mm、こちらは25mmですが、どちらも人間ドックのときの大きさと変化がありませんので、まあ、このまま経過観察で大丈夫だと思います。

しばらく様子を見ましょう。

1年後にまた検査をしましょう。

2. 内科（感冒・便秘）

木村さんは、2日前から発熱し頭痛がひどいので内科クリニックを受診しました。今日の体温は 38.7 度でした。

医師：木村さん、今日はどうしましたか？

木村：

（2日前から発熱し頭痛がひどいことを言う）

医師：ほかに気になることはありませんか？

むかつきや、お腹がゆるくなることはありませんか？

木村：（むかつきはある。下腹部が張って痛いことを言う）

医師：胸の音を聞かせてください。それからお腹をちょっと触らせてもらいますね。

（聴診、触診を終えてから）

木村さん、今回はかぜだと思います。

お薬を出しますので様子を見てください。

良くならない場合はまたきてください。

お腹の痛みとむかつきは便秘のせいだと思います。

便秘の薬も出しておきます。これは便をやわらかくする薬なので、様子を見ながら服用してください。

では、お大事に。

3. 内科・泌尿器科（膀胱炎）

木村さんは、一昨日からトイレに行く回数が増え残尿感があり、昨日からは排尿のたびに激痛がするようになり、内科・泌尿器科を受診しました。

医師：木村さん、今日はどうしましたか？

木村：

（一昨日からトイレに行く回数が増え残尿感があった。昨日からは排尿のたびに激痛がすることを言う）

医師：まず、尿検査をしましょう。

看護師：（採尿説明）

木村晴美さんですね。お名前は合っていますか？

コップのこの線まで中間尿をとって、窓口に出してください。

（検査のあと）【画像あり】

医師：木村さん、このように尿の中に白血球や雑菌がたくさんみられますので、膀胱炎だと思われます。

抗生物質を出しますので、これで様子をみてください。

免疫力が低下すると、細菌が繁殖しやすくなり膀胱炎を繰り返したりしますので、免疫力を低下させないよう気をつけてください。

体が冷えないよう温かくして、ストレスをためないような生活がいいと思います。

それから、アルコールや刺激の強いものは控えてください。

では、1週間後にきてください。お大事に。

1. アルコール依存症

みやぎ保健所・精神保健福祉相談窓口

- ・ソーシャルワーカー
- ・相談者Aさん（ろう者）
- ・手話通訳者

相談者Aさんの状況：

ろう者、女性、30代。既婚。

夫（ろう者）は単身赴任。長女5歳（聴者）は幼稚園年中クラス。

結婚後専業主婦だったが、長女が幼稚園に入園してから、日中時間が空くようになったので、1月から在宅でデータ入力の仕事をするようになった。夫が単身赴任で、日ごろは長女と二人暮らし。夫は1か月に1回ぐらいしか帰ってこない。娘も幼稚園に入ったので、自宅でできる仕事をしたいと思い、昨年10月から在宅でデータ入力の仕事 시작했다。自分ひとりで家事・子育て・仕事を頑張っている。今年の2月、いつもよりも大量のデータ入力の仕事をして、前年よりも高い賃金をもらった。自分にご褒美と思い、結婚前から好きだったワインを1本購入し飲んだ。妊娠～授乳期間中は禁酒していたので、久しぶりのワインはとてもおいしかった。

夫が不在でワインを飲むのは自分ひとりなので、酸化しないうちに飲みきってしまおうと思った。料理をしながらワインを飲み、食事中もワインを飲むようになった。長女は夜8時に就寝するので、夜ひとりの時間にワインを飲み続けた。そのため、朝も起きられず、幼稚園に遅刻することが増えた。また、日中も体がだるいし頭もすっきりしないため、仕事がかどらなくなった。そのため日中もワインを飲むようになり、幼稚園のお迎えに遅れたり、家事がおろそかになってきた。

生活に支障が出るようになってきたので、酒量を半分にしようと思ったが、半分では足りず、結局今までと同量を飲んでしまう。

幼稚園の送迎のときに、担任の先生や他の母親たちが自分を非難する目でみているような気がして、気分が落ち込む。落ち込みを忘れようとして、帰宅後にまたワインを飲んでしまう。

先日、長女に「ママお酒臭いから嫌い。パパと一緒にがいい」と言われ、ショックで禁酒しようとしてワインをすべて処分した。手が震えたり、心臓がどきどきしたが、お酒をやめるためだと思い耐えた。3日間禁酒していたが、症状は治まらず、昨日、幼稚園に迎えに行く途中で道がわからなくなり、パニック（発汗、動機）になり動けなくなった。ちょうど、同じ幼稚園のお母さんが通りかかり、幼稚園まで連れて行ってくれたようだ。長女を迎えて自宅に帰ったことは覚えていない。

記憶がなくなるのは、アルコール中毒ではなくて脳の病気だろうか？

どの病院にいったらよいかわからないので、まず保健所の精神保健福祉相談窓口で相談に行くことにした。

アルコール依存症_相談者A（ろう者）シナリオ

ソーシャルワーカー：今日はどうしましたか？

相談者A：

（状況をもとに、ソーシャルワーカーに尋ねられたことに少しずつ答えてください。）

アルコール依存症_ソーシャルワーカーシナリオ

ソーシャルワーカー：今日はどうしましたか？

相談者Aさん：

（ソーシャルワーカーに尋ねられたことに少しずつ答えてください。）

ソーシャルワーカー：

（下記の項目を一つずつ質問してください）

- ①来所の理由（今日はどうしましたか？）
- ②現在の状態
- ③これまでの経緯
- ④今後どうしたいと思っているか
- ⑤家族や周囲の人たちとの関係

（アルコール依存症治療に向けてください）

- ①情緒障害、手の震え、動悸、発汗、記憶障害などは、アルコール依存症の離脱症状だと思われる
- ②治療方法を説明する【説明画像あり】
- ③家族の理解と協力が必要である
- ④本人の意思、家族の理解と協力、適切な治療とリハビリテーションで改善できる

2. うつ病/甲状腺機能低下症

みやぎレディスクリニック

- ・ 医師
- ・ 患者Bさん（ろう者）
- ・ 手話通訳者

患者Bさんの状況：

ろう者、女性、40代。独身（一人暮らし）

今年6月にろうあ協会の大きな大会があった。大会成功に向けてがんばって準備してきたので、大会が無事終了しほっとした。

その後夏ごろから、体がだるく感じられるようになった。大会の疲れが出たのかもしれないと思っていたが、何事にも意欲がわかなくなってきた。毎日やる気が起きない。朝起きて、仕事に行くのも面倒くさいと思う。体の動きもだんだん遅くなってきた気がする。

秋がきて、冬になってみると、寒さが耐え難い。秋にはろうあ協会の行事や職場のレクリエーションもあるが、行きたくない。

職場の同僚からは顔がむくんでいると言われた。そういえば、足もむくんでいる。抜け毛が多くなってきた。季節の変わり目のためだと思っていたが、冬になっても相変わらず毛が抜ける。どんどん悪化しているような気がする。それが気になってあまり人に会いたくない。

吐き気や腹痛はないが、便秘がひどくなった。常にお腹が張っているためか、食欲がない。何を食べてもおいしく感じられない。

発熱、咳、頭痛などの症状はないが、常に頭が重いような感じがする。

眠りが浅く、疲れがずっと残っているような気がする。朝は起きられず、起きると動悸（心臓のどきどき）がするので、血圧に問題があるのではないかと思い、自宅でも血圧を測るようになった。今朝の血圧は100/60、脈拍56/分だった。

生理も不順である。更年期障害ではないかと思い、レディスクリニックを受診することにした。

うつ病・甲状腺機能低下症_患者B（ろう者）シナリオ

医師：今日はどうしましたか？

患者Bさん：

（医師の質問に、少しずつ答えてください。無表情でとてもだるそうにしてください）

うつ病・甲状腺機能低下症_医師シナリオ

医師：今日はどうでしたか？

患者Bさん：

（医師の質問に、少しずつ答えてください。無表情でとてもだるそうにしてください）

医師：

（少しずつ問診を続けて症状を聞きだしてください。）

- ①体がだるい、やる気が出ない、朝起きて仕事に行くのが面倒
- ②眠りが浅い、疲れがとれない
- ③体の冷え
- ④顔や足がむくんでいる→人に会いたくない
- ⑤抜け毛がひどい→人に会いたくない
- ⑥吐き気、腹痛はない。
- ⑦便秘で常に腹部膨満感があり、食欲がない。おいしく感じられない
- ⑧発熱、咳、頭痛はないが、常に頭が重い。
- ⑨動悸がするので、自宅で血圧を測っている。
- ⑩生理不順。更年期障害ではないか。

医師：

（血液検査をしたあと、今後の治療方針を説明してください）

- ①女性ホルモン値が低下しているので、いわゆる更年期である。
- ②うつ病も考えられる。
- ③全身のだるさは、甲状腺機能低下症も疑われる。【説明画像あり】
- ④本日は軽い睡眠薬を処方し、今後検査を続け、診断を確定させたい。

3. かぜ、坐薬の説明

みやぎ内科クリニック

- ・ 医師
- ・ 患者Cさん（ろう者）
- ・ 手話通訳者

患者Cさんの状況：

ろう者、30代。既婚。

Cさんは、3日前から39度の発熱が続いており、頭痛、吐き気がして食事ができないため、みやぎ内科クリニックを受診した。

かぜ・坐薬の説明_患者C（ろう者）シナリオ

医師：今日はどうしましたか？

患者C：

（医師の質問に、少しずつ答えてください）

- ① 3日前から39度の発熱があり、下がらない。
- ② 頭痛がひどい。
- ③ 吐き気がして食事ができない、水を飲んでも吐く。

かぜ・坐薬の説明_医師シナリオ

医師：今日はどうでしたか？

患者C：

（医師の質問に、少しずつ教えてください）

- ① 3日前から39度の発熱があり、下がらない。
- ② 頭痛がひどい。
- ③ 吐き気がして食事ができない、水を飲んでも吐く。

医師：

（患者Cから症状を聞きだし、インフルエンザの検査と採血をします）

（診断と薬の処方について説明してください）【説明画像あり】

- ① インフルエンザではない。
- ② 食中毒ではない。
- ③ いわゆる感冒（かぜ）と思われる。
- ④ 発熱と吐き気が続くと体力を消耗し、回復が遅くなるので、解熱鎮痛剤を処方する。
- ⑤ Cさんは、吐き気がひどくて薬を飲むことが難しいと思われるので、坐薬を頓用で出す。
- ⑥ 頓用：発熱や頭痛で辛いときにだけ使うこと。
- ⑦ 解熱鎮痛剤は発熱にも痛みにも効きます。
- ⑧ 坐薬の説明をする。
 - ・ 坐薬とはおしりの穴（肛門）に入れる薬
 - ・ 使用時には、袋から取り出し、少し濡らしてすべりを良くしてからゆっくり入れる。いきなり入れると痛い。
 - ・ おしりに入れてもすぐ飛び出してくることがあるので、指でしばらくおしりの穴を押さえる。
 - ・ 指で抵抗がある場合は、ティッシュを使うといい。
 - ・ 坐薬は固形の油に薬を混ぜたもの。お腹の体温で溶け、薬が直接お腹から吸収されて効果がでる。
 - ・ 坐薬を入れると腸が刺激されて便意を催すことがあるが、薬が吸収されるまで排便は控えること。おならもしないほうがいい。
 - ・ 薬は冷蔵庫に保存。子どもの手が届かないところに置くこと。家族がラードと間違えて料理に使ったりしないよう気をつけること。
 - ・ もし、使用後に何か異常（発疹、かゆみ）が表れた場合は使用を中止して来院すること。
 - ・ 解熱鎮痛剤の坐薬は、6時間以上あけて使用する。
- ⑨ もし、変わったことがありましたらいつでも来院すること。

4. 飛蚊症

みやぎ眼科医院

- ・ 医師
- ・ 患者Dさん（ろう者）
- ・ 手話通訳者

患者Dさんの状況：

ろう者、50代。

Dさんは、ある日青い空を見上げていると、黒い糸くずのようなものがゆっくり飛んでいるのに気づいた。目を動かすと舞うように動く。何だろうと目を凝らして見ようとしても逃げていってしまう。空に何かあるわけではないようだ。明るい部屋でも同じような糸くずが見える。実際に糸くずが飛んでいるのではなく、自分の眼の問題ではないかと思った。

ろう者にとって眼は大事だ。

もし重い病気で目が見えなくなったらどうしようと考えたと絶望的な気持ちになった。

最近老眼が進んでいると思う。本や新聞が良く見えない。ダイソーで老眼鏡を購入し使用している。100均の老眼鏡は眼に悪いのだろうかと不安になった。

その他の症状（眼痛、かゆみ、発赤、目やになど）はない。

失明しては困ると思い、眼科を受診することにした。

飛蚊症_患者D（ろう者）シナリオ

医師：今日はどうしましたか？

患者Dさん：

（医師の質問に、少しずつ答えてください）

①空を見たり、明るい部屋で糸くずが見える。

②視線を動かすと糸くずも移動する。

③老眼で、本や新聞がぼやけてしまうので、ダイソーで老眼鏡を購入し使っている。100均の老眼鏡が眼に悪いのではないかと不安である。

④ろう者なので、目が見えなくなったらとても困る。

（とにかく、失明しないかどうか心配していることをアピールしてください。）

飛蚊症 医師シナリオ

医師：今日はどうでしたか？

患者Dさん：

（医師の質問に、少しずつ答えてください）

- ①空を見たり、明るい部屋で糸くずが見える。
- ②視線を動かすと糸くずも移動する。
- ③老眼で、本や新聞がぼやけてしまうので、ダイソーで老眼鏡を購入し使っている。100均の老眼鏡が眼に悪いのではないかと不安である。
- ④ろう者なので、目が見えなくなったらとても困る。
（とにかく、失明しないかどうか心配していることをアピールしてください。）

医師：

（問診のあと、検査の説明をする）

- ①あちらで、視力検査、眼底検査、視野検査をする
- ②検査が終わったらお呼びしますので、待合室でお待ちください。

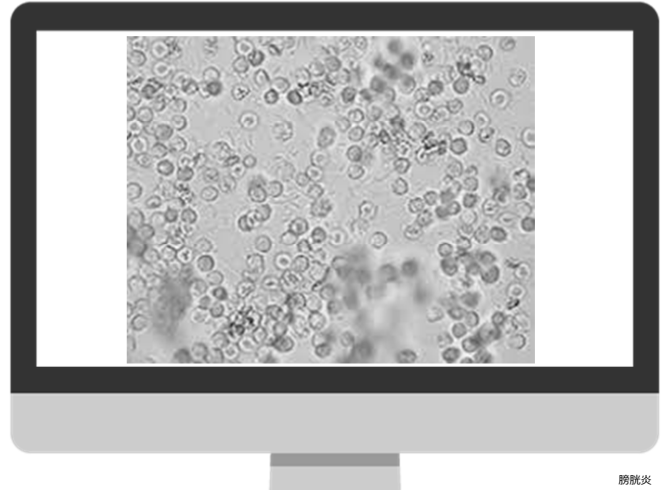
医師：

（検査終了後、診断について説明する）

- ①Dさんの視力は左右とも1.0と良好。
- ②眼底にも異常なし。
- ③視野欠損もない。
- ④硝子体の加齢性変化による生理的飛蚊症だと思われる。【説明画像あり】
- ⑤いまのところ、特に心配はない。
- ⑥自覚症状に変化があった場合（飛蚊症の数が増える、形が大きくなる、視野が欠ける、光視症がでる）は、網膜剥離の可能性も考えらる。
- ⑦網膜剥離は失明に至ることもあるので、そのような場合は再度受診すること。（少し脅かす）
- ⑧定期的な経過観察をするといいですね。（患者が、重篤なのか心配ないのか迷うように）

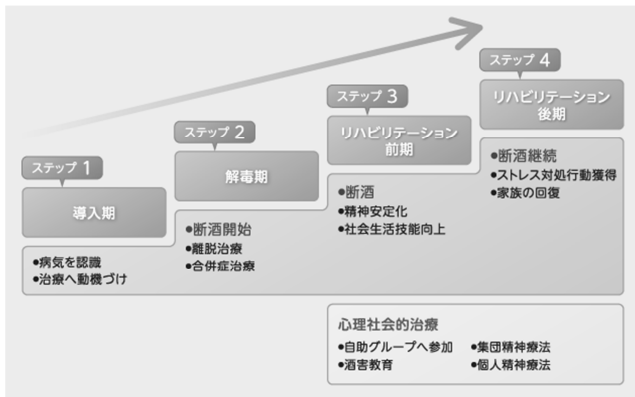


肝臓、肝血管腫



膀胱炎

アルコール依存症の治療



甲状腺亢進症 (バセドウ病)		甲状腺機能低下症 (橋本病)	
高い	低い	高い	低い
よく汗をかく	発汗	汗が出にくい	発汗
やせる	体重	増える	増える
血色が良い	皮膚	かさかさしている	かさかさしている
興奮状態	精神	気分が沈む	気分が沈む
じっとできない	動作	動きが鈍い	動きが鈍い
細かいふるえ	指	ふるえなし	ふるえなし
顔がはやい	心臓	脈が遅い	脈が遅い
下痢	胃腸	便秘	便秘
不眠	生理	不眠	不眠

		TSH		
		低い	正常	高い
FT4	高い	甲状腺機能亢進症		
	正常		正常	潜在性甲状腺機能低下症
	低い			甲状腺機能低下症

成分・分量
1錠 650mg中 アセトアミノフェン……………100mg 添加物としてハードファットを含む

効能・効果
小児の発熱時の一時的な解熱

用法・用量
次の量を肛門内に挿入してください。1/2錠を使用する場合、1/2錠を使用しないこと。

年齢	1才未満	1~2才	3~5才	6~12才
1回量	1/2錠	1錠	1錠	1~2錠
使用回数	1日1回			

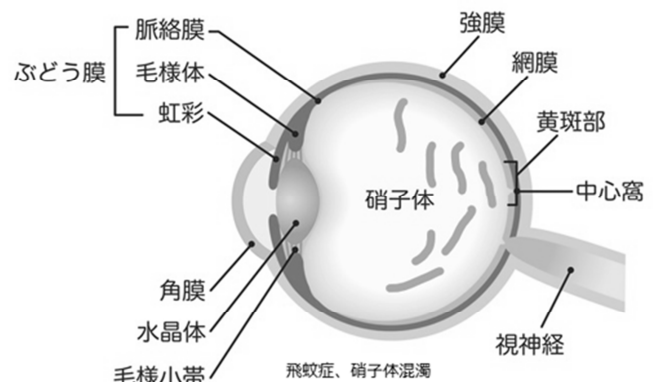
注意
①経口薬の服用監視のもとに使用させてください。
②用法・用量を守ってください。
③1才未満の小児には使用しないでください。
④錠剤は1日1回とし、2錠併用して使用しないでください。
⑤肛門内のみ使用し、内服しないでください。

薬物の注意
○汗ばんだ状態は早急に拭き取ってください。
○熱の上がり際に、水分を十分に補ってください。
○熱の上がり際に、水分を十分に補ってください。
○熱の上がり際に、水分を十分に補ってください。
○熱の上がり際に、水分を十分に補ってください。

保存及び取扱い上の注意
①直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所(冷蔵庫等)に、密封の状態で保存してください。立てで保存してください。
②小児の手が届かない所に保管してください。
③服用後は、包装を破棄してください。他の薬に入れかえないでください。

●問い合わせは、橋本製薬株式会社(橋本)まで
橋本製薬株式会社 電話：02-271-2900
〒270-0204 千葉県橋本町1-1-1
受付：月～金曜日 朝9時～午後5時

●お問い合わせは、橋本製薬株式会社(大宮工場)まで
橋本製薬株式会社 大宮工場
〒321-0802 埼玉県大宮市東区大宮1-1-1
受付：月～金曜日 朝9時～午後5時



一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会
2019年度 手話通訳指導者育成事業
(日本財団助成事業)

「手話通訳Ⅰ」養成担当講師連続講座

Supported by  日本財団 THE NIPPON
FOUNDATION

2019（令和元）年度 宮城県 手話通訳I養成担当講師連続講座 カリキュラム

回	日程	時間	配分	科目	内 容
第1回	7/20	12:30~13:00	30		受付・オリエンテーション
		13:00~14:30	90	講義	改訂「手話通訳養成1」テキストの概要とポイント
		14:45~17:15	150	講義	指導計画(指導案)の作成ポイント
				演習	指導計画(指導案)の作成
	7/21	9:30~11:30	120	講義	第1~第7講座 基本文法の復習
		12:30~14:00	90	モデル	第1講座 手話の特徴①「指の代理的表現」
14:10~15:10		60	討議		
第2回	8/10	12:15~13:45	90	模擬	第2講座 手話の特徴②「具体的表現」
		13:55~14:55	60	討議	
		15:10~16:40	90	模擬	第6講座 手話の特徴のまとめ
		16:50~17:50	60	討議	
	8/11	9:30~11:30	120	講義	第8~第12講座 通訳学習に入る前に、身近な場面通訳
		12:30~14:00	90	モデル	第10講座 場面通訳「パソコンの修理」
		14:10~15:10	60	討議	
		第3回	9/14	12:15~13:45	90
13:55~14:55	60			討議	
15:10~16:40	90			模擬	第12講座 電話通訳「キャンプ場の予約」
16:50~17:50	60			討議	
9/15	9:30~11:30		120	講義	第13~第16講座 要約
	12:30~14:00		90	モデル	第13講座 文章を要約①
14:10~15:10	60	討議			
第4回	10/19	12:15~13:45	90	模擬	第14講座 文章を要約②
		13:55~14:55	60	討議	
		15:10~16:40	90	模擬	第15講座 話を聞いて要約1
		16:50~17:50	60	討議	
	10/20	9:30~11:30	120	講義	第17~第21講座 読み取り通訳
		12:30~14:00	90	モデル	第17講座 読み取り通訳①「ろう協の活動」
		14:10~15:10	60	討議	
		第5回	11/23	12:15~13:45	90
13:55~14:55	60			討議	
15:10~16:40	90			模擬	第20講座 読み取り通訳④「地域の交流」
16:50~17:50	60			討議	
11/24	9:30~11:30		120	講義	第22~第23講座 手話を見て要約
	12:30~14:00		90	モデル	第22講座 手話を見て要約①
14:10~15:10	60	討議			
第6回	12/21	12:15~13:45	90	模擬	第21講座 読み取り通訳⑤「デイサービスの1日」
		13:55~14:55	60	討議	
		15:10~16:40	90	模擬	第23講座 手話を見て要約②「趣味」
		16:50~17:50	60	討議	
	12/22	9:30~11:30	120	講義	第24~第28講座 聞き取り通訳
		12:30~14:00	90	モデル	第24講座 聞き取り通訳①「住宅用火災警報器について」
14:10~15:10	60	討議			
第7回	2/15	12:15~13:45	90	模擬	第25講座 聞き取り通訳②「避難所での子どもボランティアについて」
		13:55~14:55	60	討議	
		15:10~16:40	90	模擬	第28講座 聞き取り通訳⑤「生きる力を育てる」
		16:50~17:50	60	討議	
	2/16	9:30~11:30	120	講義	第29~第32講座 場面通訳
		12:30~14:00	90	モデル	第29講座 場面通訳①「眼科受診」
14:10~15:10	60	討議			
第8回	3/7	12:15~13:45	90	模擬	第30講座 場面通訳②「消費者センター」
		13:55~14:55	60	討議	
		15:10~16:40	90	模擬	第31講座 場面通訳③「三者懇談」
		16:50~17:50	60	討議	
	3/8	9:30~11:00	90	模擬	第32講座 場面通訳④「自治会の会議」
		11:10~12:10	60	討議	
		13:10~14:40	90	討議	講座のまとめ
		14:40~15:00	20		修了式

2019（令和元）年度 宮城県 手話通訳 I 養成担当講師連続講座 カリキュラム

回	日程	時間	配分	科目	内 容	
第1回	7/20	12:30~13:00	30		受付・オリエンテーション	
		13:00~14:30	90	講義	改訂「手話通訳養成1」テキストの概要とポイント	
		14:45~17:15	150	講義	指導計画(指導案)の作成ポイント	
				演習	指導計画(指導案)の作成	
	7/21	9:30~11:30	120	講義	第1~第7講座 基本文法の復習	
		12:30~14:00	90	モデル	第1講座 手話の特徴①「指の代理的表現」	
14:10~15:10		60	討議			
第2回	8/10	12:15~13:45	90	模擬	第2講座 手話の特徴②「具体的表現」	
		13:55~14:55	60	討議		
		15:10~16:40	90	模擬	第6講座 手話の特徴のまとめ	
		16:50~17:50	60	討議		
	8/11	9:30~11:30	120	講義	第8~第12講座 通訳学習に入る前に、身近な場面通訳	
		12:30~14:00	90	モデル	第10講座 場面通訳「パソコンの修理」	
		14:10~15:10	60	討議		
		12:15~13:45	90	模擬	第11講座 場面通訳「遺失届」	
13:55~14:55	60	討議				
第3回	9/14	15:10~16:40	90	模擬	第12講座 電話通訳「キャンプ場の予約」	
		16:50~17:50	60	討議		
		9/15	9:30~11:30	120	講義	第13~第16講座 要約
			12:30~14:00	90	モデル	第13講座 文章を要約①
	14:10~15:10	60	討議			
	第4回	10/19	12:15~13:45	90	模擬	第14講座 文章を要約②
13:55~14:55			60	討議		
15:10~16:40			90	模擬	第15講座 話を聞いて要約1	
16:50~17:50			60	討議		
10/20		9:30~11:30	120	講義	第17~第21講座 読み取り通訳	
		12:30~14:00	90	モデル	第17講座 読み取り通訳①「ろう協の活動」	
		14:10~15:10	60	討議		
		11/23	12:15~13:45	90	模擬	第19講座 読み取り通訳③「仕事」
13:55~14:55	60		討議			
15:10~16:40	90		模擬	第20講座 読み取り通訳④「地域の交流」		
16:50~17:50	60		討議			
11/24	9:30~11:30	120	講義	第22~第23講座 手話を見て要約		
	12:30~14:00	90	モデル	第22講座 手話を見て要約①		
	14:10~15:10	60	討議			
	第6回	12/21	12:15~13:45	90	模擬	第21講座 読み取り通訳⑤「デイサービスの1日」
13:55~14:55			60	討議		
15:10~16:40			90	模擬	第23講座 手話を見て要約②「趣味」	
16:50~17:50			60	討議		
12/22		9:30~11:30	120	講義	第24~第28講座 聞き取り通訳	
		12:30~14:00	90	モデル	第24講座 聞き取り通訳①「住宅用火災警報器について」	
14:10~15:10	60	討議				
第7回	2/15	12:15~13:45	90	模擬	第25講座 聞き取り通訳②「避難所での子どもボランティアについて」	
		13:55~14:55	60	討議		
		15:10~16:40	90	模擬	第28講座 聞き取り通訳⑤「生きる力を育てる」	
		16:50~17:50	60	討議		
	2/16	9:30~11:30	120	講義	第29~第32講座 場面通訳	
		12:30~14:00	90	モデル	第29講座 場面通訳①「眼科受診」	
		14:10~15:10	60	討議		
		第8回	3/7	12:15~13:45	90	模擬
13:55~14:55	60			討議		
15:10~16:40	90			模擬	第31講座 場面通訳③「三者懇談」	
16:50~17:50	60			討議		
3/8	9:30~11:00		90	模擬	第32講座 場面通訳④「自治会の会議」	
	11:10~12:10		60	討議		
	13:10~14:40		90	討議	講座のまとめ	
	14:40~15:00		20		修了式	

手話通訳者【Ⅰ】 養成担当講師 連続講座

2019年7月20日 土曜日
宮城会場

手話通訳Ⅰ

テキストの概要と ポイント

1. はじめに

(1) 講座の進め方

- ①テキストの概要と特徴
- ②指導計画（指導案）の作成ポイント
- ③カリキュラムの柱ごとの講座の組み立てと演習
 - ：講座の組み立ての特徴
 - ：グループに分かれ指導案の作成
- ④モデル講座
 - 90分の講座
 - 60分の討議…受講者同士の意見交換
モニター生の意見発表
- ⑤模擬講座…**全員が担当する。**
 - 90分の講座
 - 60分の討議…受講者同士の意見交換
モニター生の意見発表

3

1. はじめに

(2) モニター・講師養成連続講座

学ぶこと…

講座運営、指導内容、指導技術等の向上

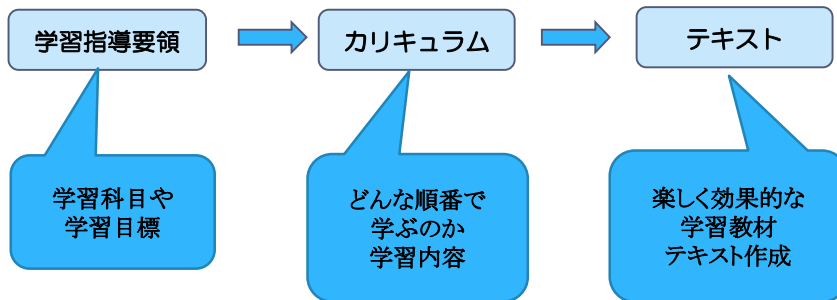
モニターしてほしいこと…

テキスト・指導書・DVDに対する意見

4

2. テキストの作成にあたって

(1) 学習指導要領とテキストとの関係



5

2. テキストの作成にあたって

(2) テキスト作成の条件

…指導要領の内容や基本課程の到達目標・カリキュラムを

具体的な形にしてテキスト化をする

…養成にあたっての基本視点

到達目標

学習内容（カリキュラム）

時間数 講義5時間・実技30時間

…必要な手話語彙数 300語程度

6

3. 学習指導要領から…養成にあたっての基本視点

講師に求められる5つの視点

1. 対等平等な社会参加をするための情報保障・コミュニケーション保障及び自己決定ができる条件の保障を担うのが通訳者の活動・業務であることを理解できる養成を。
…日常生活の中で、そういう意識を持ち、行動できるような人に育ててほしい。
…そのために講師は講座（実技や講義）で何を伝えればよいのか。
2. 業務上知り得た個人の秘密保持、人権尊重等、倫理観の確立を重視した養成を。
…人として守らなければならないこと（秘密の保持・人権を尊重等）が守れる人に育ててほしい。

7

3. 保護的・指導的立場ではなく人間として対等・平等であることを認識し業務や活動のできるよう養成を。
…日常生活の中で、そういう意識を持ち、行動できるような人に育ててほしい。
4. 聴覚障害者の社会参加の推進・手話手話通訳に関する理解を深めるために社会活動への参加を重視した養成を。
…聴覚障害者団体や手話サークル等の社会活動に積極的に参加するそんな人に育ててほしい。
5. 相互援助・研鑽のために、集団的に活動することを重視した養成を。
…仲間とともに、お互いに支援しあい学んでいく姿勢を持てる人に育ててほしい。
…そのために講師は講座（実技や講義）で何を伝えればよいのか。

8

4. 手話通訳者養成カリキュラムの概要

—学習指導要領から—

手話通訳者養成の到達目標

身体障害者福祉の概要や手話通訳者の役割・責務等について理解と認識を深めるとともに、手話通訳に必要な手話語彙、手話表現技術及び基本技術を習得する。

講義編

基本課程……通訳入門

…手話通訳の心構え・身体障害者福祉概論・ソーシャルワーク概論

応用課程……通訳能力のレベルアップ

…手話通訳の理念と仕事Ⅰ・ことばの仕組み・手話通訳者の健康

実践課程……通訳実習

…手話通訳の理念と仕事Ⅱ・手話通訳者登録制度の概要

9

4. 手話通訳者養成カリキュラムの概要

実技編 到達目標

基本課程

- ：対象の聴覚障害者の理解を確認しながらであれば手話通訳が可能なレベル。
- ：申請手続きなど手話以外のコミュニケーション手段が付随する場面で通訳が可能なレベル。

応用課程

- ：一部の難しい内容は聴覚障害者の理解の確認が必要であるが、日常場面での手話通訳は基本的に可能なレベル。

実践課程

- ：聴覚障害者の理解力に応じた手話通訳が可能なレベル。

10

5. 手話通訳者養成 「基本課程」カリキュラムの概要

- **学習目標（到達目標）・・・こんなことができるようになる** 対象の聴覚障害者の理解を確認しながらであれば手話通訳が可能なレベル。
申請手続きなど手話以外のコミュニケーション手段が付随する場面で通訳が可能なレベル。
- **そのために（養成目標）学ぶこと**
手話通訳に必要な語彙数の習得（600+300）
手話通訳に必要な表現技術を習得する。
手話通訳に必要な基本技術を習得する。
- **どんな順番で（カリキュラム）学ぶのか**
手話表現能力の向上
手話通訳の技術
場面における手話通訳技術

11

5. 新テキストの概要

カリキュラムについて

- ：基礎課程のレベルアップ部分（7講座）
基本文法応用を通訳入門への導入講座とする。
- ：基本課程カリキュラム30時間（20講座）に
5講座を追加
手話通訳者養成 I として作成

受講対象者

手話で自分の考えや意見を十分に伝えられ、聴覚障害者の手話が理解でき自由な会話ができるレベル

- ①サークル等で手話活動を続けてきた方
- ②手話奉仕員養成講座（入門・基礎）修了者
- ③全国手話検定試験3～2級の会話レベル到達者

12

5. 新テキストの概要

手話通訳入門学習として位置付け、

「到達目標」を以下のように設定している。

- ①対象の聴覚障害者の理解を確認しながらであれば手話通訳ができる。
- ②申請手続きなど書面や実物など、手話以外のコミュニケーションが付随する場面で通訳ができる。

13

5. 新テキストの概要

テキストの構成

全**32**講座で構成している。

1 講座90分～120分で学べる構成になっている。
各講座を学習することで、手話単語数300が習得できるよう多様な場면을題材にしている。

DVD教材との併用でしっかりと学習ができるように工夫している。

14

6. 新テキストの構成

1. ウォーミングアップ	聞こえない人の手話から学ぼう 第1講座～第7講座
2. 手話通訳にチャレンジ I	手話通訳の現場から学ぼう 8講座
3. 手話通訳にチャレンジ II	身近な場面の通訳をやってみよう 9～12講座
4. 日本語にチャレンジ	話のポイントをつかもう 「文章の要約」13講座・14講座 「聞いて要約」15講座・16講座
5. トレーニング手話通訳	I 「読み取り通訳をしよう」 17講座～21講座 II 「話のポイントをつかもう…手話の要約」 22講座～23講座 III 「聞き取り通訳をしよう」 24講座～28講座 IV 「場面通訳をしよう」 29講座～32講座

6. 新テキストの構成

1. ウォーミングアップ… 聞こえない人の手話から学ぼう（1～7講座）

聞こえない人たちの手話表現から学び手話通訳能力を向上していくことが目標。聞こえない人たちの手話表現の特徴を整理し、日本語に結びつけ（読み取り通訳への導入）、そして、それらの日本語を応用した手話表現（聞き取り通訳への応用）と、学習を進めていく。

2. 手話通訳にチャレンジ I …手話通訳の現場から学ぼう（8講座）

手話通訳学習を始める前の講座。様々な手話通訳現場を知り、ろう者の暮らしの広がりや手話通訳の仕事について学ぶ。また、自分の目指す手話通訳像を考える。

3. 手話通訳にチャレンジ II 身近な場面の通訳をやってみよう（9～12講座）

身近な通訳の場面を取り上げています。すぐ通訳練習に入るのではなく、場面に関する内容を手話で十分会話をしてから通訳の練習を始める。手話で話すことと通訳をすることの違いを実感的に学ぶ講座。そのことを通して、通訳としての心構えを少しずつ身につけてほしい講座である。

6. 新テキストの構成

4. 日本語にチャレンジ I 一話のポイントをつかもうー

「文章の要約」13講座・14講座、「聞いて要約」15講座・16講座
通訳能力の向上をめざす学習。通訳をする際に、話の意図を把握し、適切な言葉を選択し、表現する事は、通訳者には欠かせない能力である。それらを要約学習を通して高める学習。

5. トレーニング・手話通訳 I・II・III

「読み取り通訳」17講座～21講座「手話の要約」22講座・23講座
「聞き取り通訳」24講座～28講座

読み取り学習からスタートする。読み取りの力を基礎に、聞き取り通訳の表現の基礎を積み上げることが目的。また、手話を見ておおよその言いたいことが把握できることを考え、手話の要約は読み取り学習の後に入れている。

6. トレーニング・手話通訳IV 場面通訳をしよう29講座～32講座

そして、最後に読み取り通訳、聞き取り通訳と切り替えながらの通訳場面の学習が入っている。ここでは、場面における通訳上の留意点なども考える。

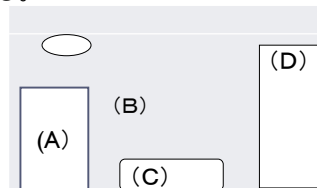
17

6. 新テキストの構成

- (A) 通訳養成各講座の学習目標（ねらい）や学習内容を提示している。
- (B) 学習目標が達成できるよう、学習の順番にしたがって学習課題を提起している。また、DVDに収録されている課題提供は囲みで表示している。
- (C) 新しく学ぶ手話単語は、DVDに登場する人の手話表現をイラストにしている。
また（ ）には標準手話を示している。
- (D) 講座内容と関連したろう者にかかわる話題や学習内容の理解を深めるために、「学習のてだすけ」を掲載している。

※このテキストでは、以下の記号を使っている。

「/」・・・手話に対応する代表的な日本語の意味ごとの区切りを示している。
「//」・・・文の終わりを示している。



18

7. DVD教材について

このテキストはDVD教材（手話通訳者養成Ⅰ）と併用して使うように作成されている。

1講座～12講座・15講座～32講座については、学習課題がDVDに入っている。

★**受講者用**・・・テキストの教材のみ

★**講師用**・・・初めの部分は、学習者の練習用（通訳はなし）

後の部分は**参考通訳**を挿入している。

これは**通訳例の一つ**である。参考にしてほしい。
他の通訳の方法も工夫し、学習を進めてほしい。

19

8. テキストの特徴

- (1) ろう者の手話から学ぶ
- (2) 読み取りから聞き取りへ
- (3) 全国各地のろう者の手話が教材に
 - ・収録会場（札幌・神奈川・京都・熊本）
 - ・収録方法を工夫した
 - ・講師役などに専門家を起用した
- (4) 通訳派遣の実態に合わせた学習課題
- (5) **通訳現場から学ぶ**

20

9. まとめ


- どんな手話通訳者を育てたいですか



**育てるために必要なことは？
もう一度考えてみましょう**



手話通訳者【1】
養成担当講師
連続講座
宮城会場
2019年7月20日(土)



指導計画(指導案)の作成ポイント

1. 講座指導にあたっての留意点

(1) 講師の留意点

：経験主義にならないように
：講師団等講師が学びあえる場作り
：講師は、対等・平等⇄責任分担の調整
：テキストを深め（教材研究）、受講者の学習の手助けをする補助教材の工夫を

：講座の主役は受講者、受講者中心の楽しい講習会の運営を
：受講者をよく知る工夫を
(講師の自己満足、独演会にならないように)

※ 良きモデル（手本）の役割
…講師自身が最上のテキスト

※ 援助者としての役割
…「教える」よりも「**学びを助ける**」
「**学び方を提示する**」

※ 講師複数いる場合には、お互いの役割を明確にしておく

3

講師の4つの仕事

1. 指導目標を持とう

- どんな通訳者を育てたいのか
- どんな学び方をしてほしいのか
- どんな指導方法をしたいのか

2. 教材(テキスト)の研究をしよう

- 教材全体の流れをつかむ...テキスト全体通して養成の目標を理解する。
- 各講座のねらいをつかむ...各講座の指導内容の把握をする。
- 教材の内容を繰り返して読む。
- テキストの課題に取り組んでおく。
- 教材を通して受講者に学んでほしいことを明らかにする
(考え方、技術、態度など)

4

講師の4つの仕事

3. 受講者の把握

- 受講者の実態を把握する。
- 教材に対する受講者の知識や学習体験。学習の習得度。
- 教材に対して、受講生のつまずきはどこかを予測する。

4. 指導法の研究をしよう

- 講座の組み立て(導入、展開、まとめ)を考える。
- 発問の中身や指示の計画を立てる。
- 学習形態(一斉、個別、小集団)を考える。
- 練習、話し合いの流れと時間設定。
- どこで、何を評価するか。

5

2. 指導計画作成の手順

講座の学習目標(ねらい)を立てよう
何を学ぶのかを明確に

この講座で学ぶこと

- この講座を学ぶことで理解してほしいこと
- この講座で身につけてほしいこと
(できるようになってほしいこと)
- この講座を学ぶことで気付いてほしいこと

※担当講師は共通の理解をしておくことが大切

6

3. 学習の流れを決めよう(学習内容)

テキストの学習の順番を参考に大きな学習の流れ(学習の進め方)を記入します。

導入…本講座の学習内容を理解し、学習の展開に入る準備や学習する意欲を高めることが目的

展開…学習目標を達成するための学習内容を記入

まとめ…まとめでおこなう内容を記入学習のねらいが達成できたかの確認や講師の気づいたこと、課題や次回の予告など

7

4. 学習活動を具体的にしよう

講座の学習目標が達成できるように学習の内容(順番)を記入します。

テキストの学習内容を積み上げることで学習目標が達成できるように、テキストには順序だてた学習課題が用意されています。

◎受講者がなにをするのかを常に明確にする。

以下のことに留意し、学習活動を決める

- どこに重点をおくか
- 欲張り過ぎない計画(新しい課題は2つくらい)
- 学習の形態の工夫

8

5. 学習の支援を考えよう

受講者が学習を理解し、進めやすくするための講師の手助け（支援）を記入します

学習課題の提示や学習形態の工夫、学習を円滑に進めるための支援など

- 効果的な学習形態（グループ、ペア等）
- 課題の提示はわかりやすく具体的に
 - ・板書、図・絵を書くなどの工夫
 - ・説明の仕方はわかりやすく、確認を取りながら
 - ・例の出し方は受講者の状況に合わせて
- 受講者のレベルを把握し、つまずくところを予測し手立てを考えておく。
 - ・そのためには受講者の状況（理解度・習得度等）の把握
 - ・学習課題の研究
- グループ学習時の講師の動き
 - ・巡回指導…個別でわからないところの指導
…共通してわからないところは全体指導
 - ・受講者の学習状況の把握
 - ・みんなで話し合いができるような援助
- 受講者が受け身にならない工夫をする。
(指導は教え込むことではない、自分で考えることを大切に、発問の工夫をする)

9

6. 評価の基準を持とう

学習課題ごとに達成してほしいことを記入します

- 一つひとつの学習課題に関しても評価ポイントを決めておく
- このくらいできれば良いという、評価の基準を講師が持つこと
- 評価をすることで、受講者の理解の程度や習得の程度を把握し必要な学習の流れの変更など、受講者の状況にあわせた学習活動を進める

※ 学習課題ができたかどうかの確認をする方法を入れておこう
(例、発表させる)

※ 学習課題ができているかどうかを見るのが評価
課題を提示したら必ず評価を

10

7. 準備するものを確認しよう

講座で準備するものを記入します

教材は講座の命、学習内容の理解が進むように講座に関連するものを補助教材として準備しましょう。

- テキスト・DVD以外に地元で作成したもの
- 新聞・報告書などの資料等
- 自主作成教材（絵、実物、文字カード、模型）
- 映像（視覚的）

11

8. 時間配分を考えよう

一つのことに取り組める時間を考えて、**15分**を目安として組み立てを考えてみましょう

- 復習に時間をかけすぎたり、時間が足りないからと、練習をさっと流して、ついていけない受講者がでないように
- 時には時間内に終わらないこともある。計画通りに終わらせるのではなく、受講者の学習状況にあわせよう。

12

9. 指導案

① : 講座観 : 受講生観 : 指導観

学習の目標②	この講座の目標 そのために学ぶこと(指導すること)				
⑧時間配分	学習内容③	④学習活動 (受講生がすること)	⑤学習の支援 (講師がすること)	⑥評価	⑦準備
		一つの課題は15分位を目安に	: 全体の流れ 導入→展開→まとめ : 学習が達成できるように、学習内容の積み上げをしていく		

13

講座運営のポイント

支援の仕方

【例】

- 答えに詰まったとき、どういう視点で考えればいいのか視点を明確に
- グループ討議は、途中で進行状況を確認
ずれている場合はグループ全体に支援
(グループ討議では集団で責任を持つことが大切)
- 受講者が難しい、できないであろう点を予測
(似たような例文、教材をたくさん準備しておく)

14

講座運営のポイント

充てる順番・発問の工夫

- 受講者一人ひとりの状況をつかんでおく
 - * 年齢、手話経験、性格、職業等
 - * どこかで自信を持てるよう工夫
- 発問⇔答えを引き出すためのきっかけ
 - * 「わかりますか」「どうですか」
ではなく具体的な質問を

15

講座運営のポイント

課題は少なく

- 例文を準備する場合
今まで教えたこと+2, 3⇔少し努力すればできる範囲で
- 課題を与えた後途中で新しい課題の追加はしない
- 受講者の大半ができないと判断した場合
 - * 提起が不十分であれば再度説明を
 - * 難しすぎる場合は優しい課題に差し替える

16

講座運営のポイント

評価は具体的に

- 評価の基準⇔教えたことが理解できているかだけ
 - * 「位置と方向が不十分ですね。そこを勉強してください」
 - * 「表情はいいですね。手の動きをもう少しはっきりさせてください」
- 頑張ればできるんだという気持ちを持たせられるような評価を

17

講座運営のポイント

主役は受講者

- 講師はしゃべり過ぎない⇔講師の自己満足
厳禁
- 受講者の力を最大限引き出す工夫を
 - * 受講者が参加しているという気持ちを持つ運営を
- 受講者ができたこと、できなかったことが理解できる運営を

18

指導案はシナリオ

- 学習指導案は、養成講座を成功させるための計画書、講座を進めるために必要な**シナリオ**と考えましょう

- ★自分の研究・開発した講座を他の講師に伝えることで、みんなのアドバイスがもらえます。
- ★事前の準備がきちんとでき、時間の無駄がなくなります。
- ★進行状況に合わせて、時間を調整しやすくなります。
- ★自分の実施した講座の問題点や課題が発見でき、改善できます。
- ★担当日に都合が悪くなった時、他の講師に代わりを頼みやすく、逆に急に頼まれても、スムーズに対応できます。
- ★新しい講師の養成に役立ち、講師一人一人の負担が軽くなります。

19

まとめ

- 指導案は受講者の立場になって作りましょう。
- 受講者が手話養成講座を楽しく学べるようにしましょう。
- 到達目標を明らかにしましょう。
- 補助教材を工夫してみましょう。
- 自分が良い講師になるために研鑽しましょう。

20

: 日 時 年 月 日

講師名 _____

: 講座名 第 講座

: 講座について

- 講座観
- 受講者観
- 指導観

...

② 学習の目標

⑥ 時間配分	③ 学習内容	④ 学習活動 受講者がすること	⑤ 学習の支援 講師がすること	⑥ 評価	⑦ 準備物

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会
2019年度 手話通訳指導者育成事業
(日本財団助成事業)

まとめ

2019 年度手話通訳指導者育成事業 まとめ

2019 年度は 3 つの講座に取り組み成果をあげることができた。

1. 手話通訳指導者育成講座（対面学習会）の開催

時 期：2019 年 6 月～2020 年 3 月 全 4 回（6/29、9/21、12/14、3/20）
場 所：宮城県聴覚障害者情報センター
対象者：手話通訳指導者を志す者 8 名
内 容：手話通訳に関する理論講座、手話通訳指導のトレーニングおよびスーパービジョン

翻訳理論や通訳理論・通訳論を学習し、手話通訳指導の力が向上した。スーパーバイザーによって受講者の特性が評価され、個々に応じたトレーニングを実施することにより、全体的に指導力を向上させることができた。

2. OJT による手話通訳指導力の向上（手話通訳者現任研修における指導）

時 期：2019 年 12 月 15 日（日） 全 1 回
場 所：宮城県聴覚障害者情報センター
対象者：育成講座受講者 8 名
内 容：手話通訳者現任研修（模擬通訳）における指導とフィードバック

日程的な問題で予定していた「プレ通訳養成講座」を実施することができなかったが、手話通訳者現任研修会で模擬通訳における指導を実施することができた。現任の手話通訳者に対する指導を経験することにより、手話通訳指導の全体像を理解することができた。

3. 連続講座（手話通訳【I】養成担当講師連続講座）の開催

時 期：2019 年 7 月～2020 年 3 月 全 8 回
場 所：宮城県聴覚障害者情報センターほか
対象者：育成講座受講生のうち連続講座未受講者 6 名
内 容：全国手話研修センター監修『手話通訳 I』指導のための講義、指導案作成、モデル講義、討議など

本事業受講者のうち 6 名が受講し、うち全回出席した 5 名に対して研修センターから修了証が発行された。また、以前別開催地で受講したものの一部欠席のため修了していなかった 1 名が未修分を履修し、修了証が発行された。これにより、本事業受講者のうち 7 名が「手話通訳 I」の講師資格を得ることができた。

4. まとめ

- ・手話通訳指導者としての基礎知識や通訳指導の方法を習得させることができた。
- ・受講生同士のチームワーク、特にろう者と聴者の協働の姿勢を構築できた。
- ・模擬通訳指導のための教材を作成することができた。また手話通訳指導の到達点に関わることにより手話通訳指導に対するモチベーションを高めることができた。
- ・手話通訳 I 養成担当講師の資格を得ることができた。